

## 不安にひきこむ開運商法

### 【事例】

雑誌広告を見て「開運プレスレット」を申し込んだ。商品に同封されていた手紙に「正しい使い方、説明があるので電話をください」と書いてあったため、電話をかけた。悩みを聞かれ答えていた「あなたには霊がついているので除霊が必要」と、50万円の祈祷を勧められ契約してしまった。



**【問題点】**  
 ▲購入者に電話をかけさせ、不意打ち的に新たな商品の勧誘をする。  
 ▲不安につけこみ脅迫的なことを言って、祈祷サービスや水晶玉などを次々に契約させる。  
 ▲「効果がなければ返金します」と記載があっても、理由をつけて返金しないことが多い。

**【アドバイス】**  
 ○お金を払ったから運が開けるといふ訳ではないことを理解しておく。  
 ○不意打ち的に電話で勧誘されても、すぐに契約しない。  
 ○雑誌を見て自分から申し込んだ契約は、クーリング・オフ（無条件契約解除）ができないが、その後不意打ち的に勧誘された商品やサービスは、契約から8日以内であればクーリング・オフができる。

生活相談課 ☎(25)8125

# いよいよ5月開院！高島市民病院

新病院の開院が間近に近づいてきました。新病院では、最新のCTやMRIなどの高度医療機器や電子カルテをはじめとする医療情報システムを導入しており、これまでよりさらに充実した医療サービスをご提供できるようになります。入院療養を行う病室は、個室と4床室で構成され衛生的で個人のプライバシーを配慮して療養環境の向上を図っています。また、南側と東側に面した病室からは隣接する乙女が池や琵琶湖が展望でき、入院患者様の心をなごませてくれます。なお、4月28日から5月6日までの間は現病院から新病院の移転作業を行い、新しい建物での外来診療は5月7日（月）からの開始となります。

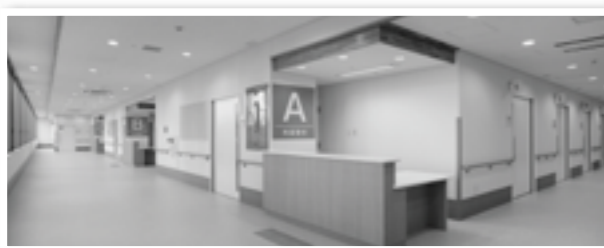
これに伴い市民の皆様、患者様にはご迷惑をおかけしますが、新病院でスムーズに患者様をお迎えできるよう職員一同努めてまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

図病院長事務課 ☎(36)0220

### 高島市民病院 理念・基本方針

湖西地域の中核病院として、住民の方々の健康を守り、医療の充実に努めます。

1. 医療を受けられる方の権利を尊重し、説明と納得・信頼の医療を追求します。
2. 医療安全に努め、質の高いチーム医療とあたたかな看護を実践します。
3. 救急医療の充実に努めると共に、災害医療にも対応できる病院を目指します。
4. 地域の福祉・医療機関と連携し、疾病治療と予防医療を推進します。
5. 継続的な地域医療を実践するため、経営の安定化に努めます。



### 市民内覧会開催

日時 4月15日(日)  
13時～16時  
※お問い合わせは病院総務課まで



### 移行時は外来を休診します

新病院への移行準備のため5月1日(火)・2日(水)は、外来診療をお休みします。また5月1日(火)午前8時30分から5月2日(水)午前8時30分まで救急外来診療の受け入れを休止します。

また、人工透析の緊急受け入れは4月30日(月)午後1時から5月2日(水)午前8時30分まで休止します。

大変ご迷惑をおかけしますがご理解をお願いします。

**〈今後の予定〉**

月日	内容
4/14(土)	竣工式
4/15(日)	内覧会
5/ 1(火)	入院患者移動 ※外来休診
5/ 2(水)	※外来休診
5/ 7(月)	新病院 外来診察開始

### 使用料・手数料等が改正になります

5月1日から、個室料や初診時特定療養費をはじめとする使用料・手数料等が改正となります。

- ・初診時特定療養費 2,100円
- ・特別個室 10,500円
- ・個室A 4,200円
- ・個室B 3,780円

※その他の料金につきましては病院までお問合せください。

## 市長の手帳 東日本大震災から1年を迎えて

東日本大震災発生から1年にあたる3月11日、天皇・皇后両陛下御臨席のもと、政府主催の追悼式が国立劇場で行われました。

地震、津波、原発事故により、多くの方々が被災され、ご家族やご友人を亡くされた方、家や財産、仕事を無くされた方もたくさんおられます。このような悲しみの中にあっても、生活の立て直しに向け、懸命に取り組まれていることと思います。

改めて、震災で犠牲になられた方々に、心から哀悼の意を捧げますとともに、被災された方々の一日も早い生活の復興を願っています。

思い起こしますと、震災当日は、市議会一般質問の日でございました。

めまいと勘違いするような、大きなゆっくりとした揺れを感じ、テレビでは津波が自動車や家を飲み込む様子が刻々と映し出されていたことを思い出します。

また、東京電力福島第一原子力発電所の事故により、未だに故郷に戻ることができず、仮設住宅や避難先で大変苦しい生活を余儀なくされている方々が大勢おられます。

14基もの原子力発電施設が存在する福井県に隣接する本市においても、市民の皆様の関心が非常に高く、また心配されている思いをひしひしと感じております。

万が一のときの安全と、市民皆様の安心を確保するために、平成24年度中には、具体的な地域防災計画をお示しできるよう、関係

者、関係団体と連携して、計画策定に取り組んでいます。

一方で、今回の震災では、日本国内に限らず世界各国からも支援の手が差し伸べられました。また、日本国民の秩序を守る素晴らしいところ、思いやりの心や危険を顧みず立ち向かう使命感溢れる行為などがクローズアップされました。そしてまた、家族や地域社会の絆の大切さに気づかされたところでした。

東日本大震災の教訓を忘れることなく、しっかりと捉え、市政に活かすとともに、後世へ語り継いでいかなければならないと強く感じています。